

ドイツサッカーの魅力

—日本人初のプロサッカー選手・奥寺康彦GM・
会員 能登 崇

本年9月25日、奥寺横浜FCゼネラルマネージャーは、そのサッカー人生を通して見たサッカーの魅力を1.5時間にわたり熱っぽく我々会員に語りかけてくれた。奥寺の足の速さ、筋力といった抜群の身体能力は、舞岡中サッカー部の時から突出していた。18歳でアジアユース代表としてハンガリーへ、見るもの聞くもの全てが美しく目新しかった。更に23歳でフランスへ留学、この時奥寺は自分に欠けているもの、即ち、足の速さやシュート力に加えて、ボールを扱う技術—ドリブル力—が不足していることに気付いた。ヨーロッパでの厳しい練習を経験し帰国した時、奥寺のサッカーを見る眼は全く変わっていた。日本のサッカーは彼から見るとチームプレーが雑でスピードが遅かったのだ。そして25歳、まさに奥寺の全盛期であるが、日本代表としてドイツへ渡り、サッカーの本場でプレーすることとなった。渡独した奥寺が先ず感動したことは、一年中美しい緑の芝生で思い切りプレーが出来ることであった。施設等のハード面の立派さは勿論、ドイツの指導者のプラス志向は選手の潜在能力をフルに伸ばすことが出来た。ドイツでの合宿が終った時点で、ヴァイスバイラーコーチが奥寺をプロ選手として勧誘した。「世界は広い。サッカーは最早ヨーロッパだけのものではない。世界中のものだ。彼であれば十分ここでプレーできる」と。そして遂に1977年奥寺は西ドイツの名門チーム「1 FC ケルン」から日本人初のプロサッカー選手としてドイツブンデスリーガにデビューしたのであった。

ケルンでは2回の優勝を経験し、当時ドイツでも強豪チームの一つであったが、チームの基礎にあるのは「自分が一番なのだ」という良い意味での高い誇りであった。その後奥寺はベルリン、プレーメンでも活躍し、帰国までの9年間で通算235試合に出場し、25得

点をあげた。筆者もドイツ滞在中に彼の試合を観戦する機会は無かったが、TVを通してそのプレーを応援した一人である。そして帰国後は日本初のプロ選手として古河電工とプロ契約を結び、2年後の1988年に現役を引退した。常時トッププレーヤーとして活躍したうえに、サッカー界の変革者としても新風を吹き込み、日本のサッカーをリードしてきた選手生活でもあった。奥寺がそのサッカー人生を振り返る時、本当に大切なことが幾つかあったと述懐する。先ず家族の絆を中心として、良き恩師・先後輩・同僚達との出会いがあった。また如何なる理論よりも現場体験の重要性を認識したこと、自分を大切にすることが、家族・地域・国家を大事に思う心に繋がること、そして人間にはやはりスポーツを愛することが人生を豊かにしてくれることを学んだことであった。これらの貴重な経験が、その後の奥寺の人生において、ジェフ市原の監督から横浜FCのゼネラルマネージャーという指導者の地位に生きている。（文中敬称略）

湘南日独協会2005年度活動予定

■12月9日(金)午後6時より“望年会”

今年も後わずかになりました。昨年はワイマールからのお客様歓迎会を行いましたので望年会は実施できませんでしたが、今年こそは会員同士、懇親の望年会を楽しく開催しましょう。

会場 藤沢さいか屋8階 “煌蘭”(中華料理)

会費 5,000円(料理9品、フリードリンク・ワインは別)

湘南日独協会会報(Der Wind)

VOL 7. NO. 6. 通巻42. 発行 2005. 11. 26.

湘南日独協会

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan

事務局：〒251-0025 藤沢市鶴沼石上1-1-1

江ノ電第2ビル7F・江ノ電沿線新聞社内

TEL0466-26-3028 / FAX0466-27-5091

湘南日独協会 会報

Der Wind

(風)

来年は“モーツァルト イヤー”

湘南日独協会1月例会は映画鑑賞会

映画 アマデウス



お話 宮下啓三氏(慶応義塾大学名誉教授)

日時 2006年1月21日(土) 午後2時 開始

会場 藤沢市民会館大ホール(藤沢駅より徒歩8分)

参加費 一般1,000円(全席自由)

主催 映画「アマデウス」上映会

湘南日独協会／湘南映画友の会

湘南アマデウス合唱団／湘南アマデウス合奏団

江ノ電沿線新聞社

チケット取扱 湘南日独協会会員は800円。

但し郵送取扱の場合は1,000円となります。

ドイツ大好きフォトコンテスト



あなたの
ドイツを
撮ろう!!

『日本におけるドイツ年』を記念してドイツ観光局がドイツ大好き・フォトコンテストを開催します。今年4月1日～来年1月31日までにドイツ国内を旅行し撮影された未発表の写真で、テーマは自由、アマチュアカメラマンなら誰でも参加できます。締め切りは1月31日、消印有効。発表は2月下旬ドイツ観光局ホームページにて。賞品はルフトハンザで行くドイツ旅行一組2名、デジタルカメラ、スライドインジェクター他多数、詳細はドイツ観光局までお問い合わせください。

TEL03-3586-0705、<http://www.visit-germany.jp/>
今年すでにドイツへ行かれた方、クリスマスからお正月に向けて行かれる方、あなたの思い出の一枚を応募してはいかがでしょうか。

新聞から拾い読み

ビールの本場ドイツで健康志向、生活スタイルの変化から低アルコール飲料などの人気急上昇し、【ビール離れ】が進んでいる。特に飲酒量の多い20代の若者の好みが変わってきているという。

ビールにコーラやレモンジュースを混ぜた「ミックスビール」、ビタミンやミネラル入り、テキーラやラムをベースにした「アルコポップ」、バスタブに入れる風呂用など変り種が続々登場。

1516年「ビール純粋令」により、麦芽・ホップ・酵母・水以外の使用は禁止され、今日まで守り続けられているが、外国産を締め出すことにもなり、ルクセンブルグでは不当な貿易障壁であるとの司法判断も下されている。変り種がビールという名で扱われることも



論争になっているといい、EU拡大で競争も激化、国内生産量10%減、業界再編の動きもあったりと、ビール業界はほろ酔い加減とはいきそうにない。

老舗の醸造業者たちは生き残りの道を探っている。
10月19日(朝日新聞朝刊 世界経済リポートより)

12月、1月に催されるドイツ関連行事

- 12. 7～12. 19 展覧会《ドイツのアニメーション・フィルム》世田谷文化生活情報センター
- 12. 10～11 ハンブルク北ドイツ放送交響楽団
2005年日本ツアー NHKホール
- 12. 10～06. 2. 23 サイエンス+フィクション
ナノの世界からグローバルカルチャーまで
日本科学未来館
開催中～12. 18 《ドイツ写真の現在》
かわりゆく「現実」と向かいあうために
東京国立近代美術館
開催中～12. 25 シュテファン・パルケルホール
《木の彫刻とレリーフ》東京オペラシティー
アートギャラリー
- 1. 7～3. 26 パウラ・モーダーゾーン＝ベッカー展
《夢くも美しき祝祭》
神奈川県立近代美術館 葉山
- 1. 28～5. 7 《東京・ベルリン／ベルリン・東京》
近代、現代の文化・芸術の変遷をたどる
六本木ヒルズ森美術館

合唱団「アムゼル」

オクトーバーフェスト横浜に出演

会員 大久保 明

2003年から横浜みなとみらい赤レンガ倉庫の特別会場でオクトーバーフェスト・イン横浜が10月の初旬開催され関東一円からドイツファン、ビールファンが集っています。このフェストは世界的に有名なミュンフェンのオクトーバーフェストに倣って、みなとみらいの振興を目的に横浜市の外郭団体が主体となり多くの企業の協賛を得て開かれ年々賑わいを見せています。今年も9月30日を前夜祭に10月1日から10日まで大変な盛り上がりでした。

私は昨年からはこのオクトーバーフェストのためミュンフェンから来日する楽団のお世話をすることになり、今年も公式の歓送迎会や休日の観光(今年は3日に日光日帰り)案内等をしました。合唱団「アムゼル」はドイツの民謡の他、“飲もう兄弟よ”“ホーフブロイハウス”等も恒例の夏のドイツフェアで歌っており、出来れば協会外の舞台にも出演したいものと狩野代表他皆さんと考えておりました。昨年は準備期間不十分でオクトーバーフェスト横浜出演は実現出来ませんでした。今年は早めに主催者側と打ち合わせ、梶井先生にもご協力頂き10月5日実現、第一ステージは単独で“ローレライ”等5曲、第二ステージはミュンフェンの楽団との競演で前述の2曲を演奏し大変な喝采を浴びました。楽団の皆さんからも賛辞が寄せられ、機会があればまた是非共演したいとの話がありました。会員の皆さんの中にも多くの方々がお出掛けになられたことでしょう。

主催者側では3年続いた催しですから是非横浜に根付かせたいと考えております。私たちは来年も出演したいと考えております。「アムゼル」への参加ご希望の方はいつでも練習にお気軽にお出で下さい。お待ちしております。お問い合わせは理事の水谷妙子さん迄。